

平成 20 年 9 月 18 日

ご投資家の皆様へ

T&D アセットマネジメント株式会社

今週の中国株式市場の下落について

今週の中国株式市場動向

世界的に金融不安が依然として残る中、9月15日の米国金融市場は、全米第四位の大手証券リーマン・ブラザーズ証券を子会社に持つリーマン・ブラザーズ・ホールディングスが連邦破産法 11 条の適用を申請したことや、米保険大手 AIG (アメリカン・インターナショナル・グループ) の経営不振などを受けて、米金融不安が一気に再燃、株式市場は大幅下落する展開となりました。翌 16 日の香港・中国株式市場では、上記金融機関破綻を受け金融株を中心に大きく下落し、米国の株式市場と同様、株価は軟調に推移する展開となりました。

17 日の香港および中国株式市場は、複数の香港・中国の金融機関がリーマン・ブラザーズの発行する債券を保有していることを発表したことに加え、AIG の経営不振が中国保険業界にも波及するとの懸念などから、銀行・保険セクターが下落を主導し、大きく値を下げる展開となりました。また、世界的景気減速が企業収益に悪影響を与えるとの懸念や、信用収縮により企業の資金繰りに影響を与えるとの懸念から中国本土株式が大幅下落し、香港上場の中国企業の株価も軒並み下落する展開となりました。

今後の見通し

弊社が設定・運用しております中国株式を投資対象とする「コスモ・中国株厳選ファンド」、「中国株厳選ファンド3ヵ月決算型」の運用再委託先の国泰君安アセット(アジア)より今後の中国株式市場の見通しについて次のコメントが届いています。

短期的には、世界的な景気後退懸念や金融不安を背景に、引続き中国株式市場の見通しに対して慎重な姿勢を崩していません。しかし、IMF(国際通貨基金)もレポートで示している通り、2009 年には世界経済が緩やかな回復をすると見込まれることから、投資環境の改善が考えられます。中国市場では、健全な経済成長を達成する為、財政・金融政策が引続き実施されると見込まれ、景気刺激策への期待感が高まっています。底堅いファンダメンタルズを背景に、世界景気が回復すると予想していることに加え、中国株が高値から 50%以上下落しており、2006 年と同水準となった魅力的な株価水準などから、中国株式市場への長期的な見通しに変更なく、投資の機会と考えています。

以上

当社ファンドへの影響

ファンド名	平成 20 年 9 月 17 日 基準価額 (円)	平成 20 年 9 月 18 日 基準価額 (円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
コスモ・中国株厳選ファンド	8,621	8,183	▲ 438	▲ 5.08
中国株厳選ファンド3ヵ月決算型	6,582	6,248	▲ 334	▲ 5.07

市況情報

	平成 20 年 9 月 16 日	平成 20 年 9 月 17 日	騰落率(%)
香港/ハンセン指数	18,300.61	17,637.19	▲ 3.63
香港/ハンセン中国企業株指数	9,236.58	8,665.15	▲ 6.19
香港/レッドチップ指数	3,298.61	3,227.46	▲ 2.16

海外の市場については基準価額への影響を考慮し、9月16日から9月17日としています。

	平成 20 年 9 月 17 日	平成 20 年 9 月 18 日	騰落率(%)
香港ドル(*)	13.68	13.47	▲ 1.54

(*) 為替レートは三菱東京 UFJ 銀行の対顧客公示相場の仲値

出所:ブルームバーグ

文中に引用した各インデックス(指数)の商標、著作権、知的財産権およびその他一切の権利は各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利および発表を停止する権利を有しています。海外株式市場のデータは基準価額への反映を考慮して1営業日前のものを使用しています。

本資料は投資家の皆様に T&D アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある証券（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資家の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます】

ご購入時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料・・・上限 3.15%（税込）

保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬・・・上限 1.995%（税込）

その他費用・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額・・・上限 0.5%

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

（ご注意）

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&D アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ 当社の概要

商 号：T & D アセットマネジメント株式会社

登録番号：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 357 号

加入協会：（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会